



発行日：令和5年9月22日発行

開催日：令和5年9月16日
時 間：10：00～11：30
場 所：横山町内会事務所 2F
参加者：14名
主 催：安城市役所公園緑地課

横山公園の大まかな施設配置を考えました！

去る、令和5年9月16日に横山町内会事務所にて第2回横山公園再整備ワークショップを開催しました。今回のワークショップでは、「どこに、どんな」施設を配置するか？大まかな公園施設配置を3つのグループに分かれて話し合いました。

● 当日のプログラム ●

- | | |
|-------|-------------------|
| 10：00 | 1. 前回のおさらい |
| 10：05 | 2. 本日のワークショップの進め方 |
| 10：15 | 3. 「大まかな配置」を考えよう！ |
| 11：00 | 4. グループ発表 |
| 11：25 | 5. 本日のまとめ |

全体スケジュール

第1回ワークショップ 8月19日 **済**
◆ワークショップの予定・進め方について
◆横山公園の現況と課題について

第2回ワークショップ 9月16日
◆前回のおさらい
◆本日のワークショップの進め方
◆グループワーク
「大まかな配置」を考えよう！
◆グループ発表
◆本日のまとめ

第3回ワークショップ 10月28日
◆整備計画案の提示
「具体的な公園計画について」を考えよう！

第4回ワークショップ(最終回) 11月25日
◆修正した整備計画案のお披露目

各グループの主な意見

○コンセプト

- A班【子どもからお年寄りまでが利用出来る公園】
- B班【子どもが主役となる公園】
- C班【全世代が楽しめる公園】

○各班の配置ゾーン

A班
健康ゾーン
幼児ゾーン
児童ゾーン
築山

B班
幼児ゾーン
児童ゾーン
休憩ゾーン
築山

C班
遊びゾーン
健康ゾーン
広場ゾーン
築山

○複数挙げられた意見

- ・公園中央に芝生の築山を配置する。
- ・消防車をモチーフとした遊具が欲しい。
- ・大型遊具が欲しい。
- ・背伸ばしベンチが欲しい。
- ・ボールを利用する広場を設けないのであれば、外周のフェンスは低くても良いのではないかな。
- ・日陰、雨除けとなる東屋が欲しい。
- ・駐輪場が欲しい。
- ・市道側の出入口は今のままで良い。
- ・県道沿いの樹木伐採後は、新たに桜を植える。
- ・見通し確保のため、低木は不要。

※各班の詳細な意見については裏面をご覧ください。

次回は、これまでの話し合いにおけるご意見を参考に、予算面や維持管理面を考慮した再整備計画案を提示いたします。計画案をたたき台に改善点がないか「具体的な公園計画について」話し合いを行います。



裏面へつづく

各班から出された意見

	A グループ	B グループ	C グループ
ゾーン	- 中央に築山を配置し、東側を児童ゾーンと幼児ゾーン、西側を健康ゾーンとする。 - 児童ゾーンは小さめ、幼児ゾーンを広くとる。 - 幼児ゾーンはトイレの近くにがあると安心。	- 幼児ゾーンは西側の囲まれた空間に配置した方が見守りやすい。 - 東側に児童ゾーンとして幼児ゾーンと児童ゾーンの間に休憩ゾーンを設けて見守りできるようにする。 - みどりゾーンは今までどおり。	- 遊びゾーンはトイレの近くに欲しい。 - 遊びゾーンと広場ゾーンを築山(芝生)で区切る。 - 健康ゾーンを縦長に設け、歩きながら、順に健康遊具を使えるようにする。
遊具	- 大型遊具など特徴のある遊具があると良い。 - 消防車に関する遊具があると良い。 - ブランコは欲しい。 - 幼児向けのクッション系遊具があると良い。 - 児童用遊具は連続性があると面白いのではないか。 - 背伸ばしベンチが欲しい。 - ぶら下がりが欲しい。 - 足ツボの園路があると面白い。 - 健康遊具は周れるように配置する。	- 幼児から小学校高学年までを対象とし、高齢者向けの健康遊具は基本的に不要。ただし、運動とベンチを兼ねたものなら良い。 - 他の公園にはない遊具を置いて魅力向上を図る。 - 消防系遊具を置いてほしい - 児童向けの大型遊具を置く - ふわふわドームのようなトランポリン系の遊具が欲しい (子供に聞いたら)タイヤの遊具が欲しい(と言っていた)	- 背のばしベンチが欲しい。 - 噴水等の水場が欲しい。 - 消防車をモチーフとした遊具が欲しい。 - 児童用と幼児用のブランコが欲しい。 - 鉄棒、砂場、スプリング遊具が欲しい。
フェンス	- 消防署側は今のままでよい。 - ボールの利用を想定しないため、フェンスの高さは低くても良いのではないか。 - ただし、県道沿いは高い方が良い。高さは3m程度	ボール遊びができないようにすれば、県道側も現在のような高いフェンスはいらないのでは？	ボールが飛び出ないように、南側と西側に高いフェンスを設ける。西側は、壁当て上部にネットを付けた物でフェンスの代わりとしても良い。(スペースを有効活用する為)
出入口	- 県道沿いは健康ゾーンに近い、今の位置で良いが、幅を広くしてほしい。 - 市道沿いは今の位置で良い。 - 子供の飛び出しなどの対策が必要。	- 市道側の出入り口は今のままで良い。サイクリングロードの出入り口に近づくと逆に飛び出す危険性が高くなる。 - 県道側は幼児ゾーンの配置に伴い、子どもが飛び出ないように今より東へ移動させる。	- 市道側の出入口は今のままで良い。 - 県道側は、真ん中あたりの位置に設ける。 - 出入口は車いす、ベビーカーが通れるようにする。
施設	- 日陰が欲しい。 - 公園中央にはシンボルとなるような築山をつくる。 - 築山の上に東屋があるとシンボルになるのではないか。 - 東屋は明るく照らしてほしい。 - 消防署側には片持ちのパーゴラがあると良い。 - サイクリングロードからのアクセスがあるため、市道沿いの出入口付近に駐輪場が欲しい。 - 幼児を見守るベンチが必要	- 日陰(東屋)が欲しい。パーゴラでは雨が降ってきたときに濡れてしまう。 - みんなが休める場所(ベンチや日陰の場所) - 今どきの子どもは、雑草が生えていると虫を嫌がって近寄らない。どれぐらいの面積を芝生にすべきか？芝生は虫の問題もある。 - 幼児と児童エリアの間に築山をいれる。築山は幼児も児童も遊ぶ。	- ボール遊びができるように大きめの壁当てが欲しい。 - ベンチは多く欲しい。 - 健康ゾーンの東屋は雨風が凌げるよう、3辺が壁に囲まれたものが良い。縁台も欲しい。 - 遊びゾーンの中にも東屋と縁台を設け、見守れるようにする。 - 植栽帯を取壊したところに、コンクリート舗装の駐輪場を設ける。
樹木	- 見通し確保のため、県道沿いの低木を伐採する。 - 県道沿いに桜を植えなおす。	伐採したあとに桜などを植える。	- 等間隔で新しく高木(桜など)を植える。 - 高木だけで良い。
グラウンド			- ボール遊びができるようにする。 - 土舗装
公園全体	- 子供からお年寄りまでが利用できる公園とする。 - 水はけが良く、草が生えにくい土舗装にしてほしい。 - ボール利用の広場は設けない。	子どもが主役となる公園とする。	全世代が楽しめる公園とする。

